

## 持続可能な未来に向けて⑯

### 葬儀の話

少子高齢化や核家

族の増加で葬儀の形

式が変化し、大勢の人

が集まる「一般葬より、

家族や親しかつた人

だけが参列して、小規

模で行う家族葬がス

タンダードになりつつある。

今月中旬、藤井寺市小

山1丁目で家族葬専

用ホール「偲(しのぶ)

ホール」開設を予定し

てある(株)葬儀全般い

ずみの葬儀アドバイ

ザー、戸田豊さんに話

を聞いた。同社は20

02年に、この地域で

いち早く「葬儀の明朗

会計」をうたい、やす

らぎホール(羽曳野市

南恵我之荘2丁目)を

開設し、現在は羽曳野

市内で3つの葬儀場

を運営している。

「家族葬が増えている

のは宗教離れや、しき

たりを重んじない考

え方が浸透したから

だと思います。コロナ

禍がそれに拍車をか

け、家族葬にあまり良

い印象を持たない人

いね」と認識が変わりました。さらには一日

葬もこれから主流に

なると思います」。

「一日葬とは何ですか?

「前夜に通夜を行い、翌日が本葬という2

日がかりで行うのが一

般葬や家族葬です。そ

れに対し、「一日葬」は

通夜を行わず、本葬は

けを行う形式です」。

戸田さんによると、こ

から関東地方で増え

始めたそうだ。関東で

の一日葬は4、5年前

は公営火葬場の順番

待ちが長く、通夜から

本葬まで3~4日以

上かかる場合もある。

通夜を行わないこと

で葬儀に携わる日数

を短縮するこの形式

が広まり、「最初は事

情の異なる関西では

普及しないと思って

### 家族葬専用 偲(しのぶ)ホール

25名様までのご葬儀に対応。  
心ゆくまで故人を偲ぶアットホームな葬儀を希望される方にご利用いただけます。(駐車場5台)

見学・見積り・ご相談 無料受付中  
**0120-86-0042**  
(株)葬儀全般いすみ



方法がある。  
なるほど、さらに合理的な葬儀ですね。  
「今は利用者さんがネットで葬儀会社を選び、相見積りをとつて会場を決める等、葬儀のコスト意識が非常に高い。しかし、会葬者や会場にかかるはずだつた費用を、湯灌や供花などにふんだんに使う方も多いのも事実。一日葬はより合理的と言えますが、大

切なのはご家族の人を偲ぶ気持ちです。故代も変わりません」と戸田さんは言う。葬儀の形式だけではなく、「墓じまいをした」という声もよく耳にしますが、働き盛りの世代が何日も仕事を休まなくてよい、会葬者の負担も少ない等で支持され、最近はお客様から一日葬を希望されるほどです」。

「墓じまいをした」という声もよく耳にする。少子化など様々な社会的要因で慣習は変化せざるを得ない。あなたは次世代に何を引き継ぎたいと思いませんか?